

HD 100623 - K0 V

結論

ここでも等価幅-元素量関係に元素による違いが見られ、それは Eps Ind と似ている。

背景

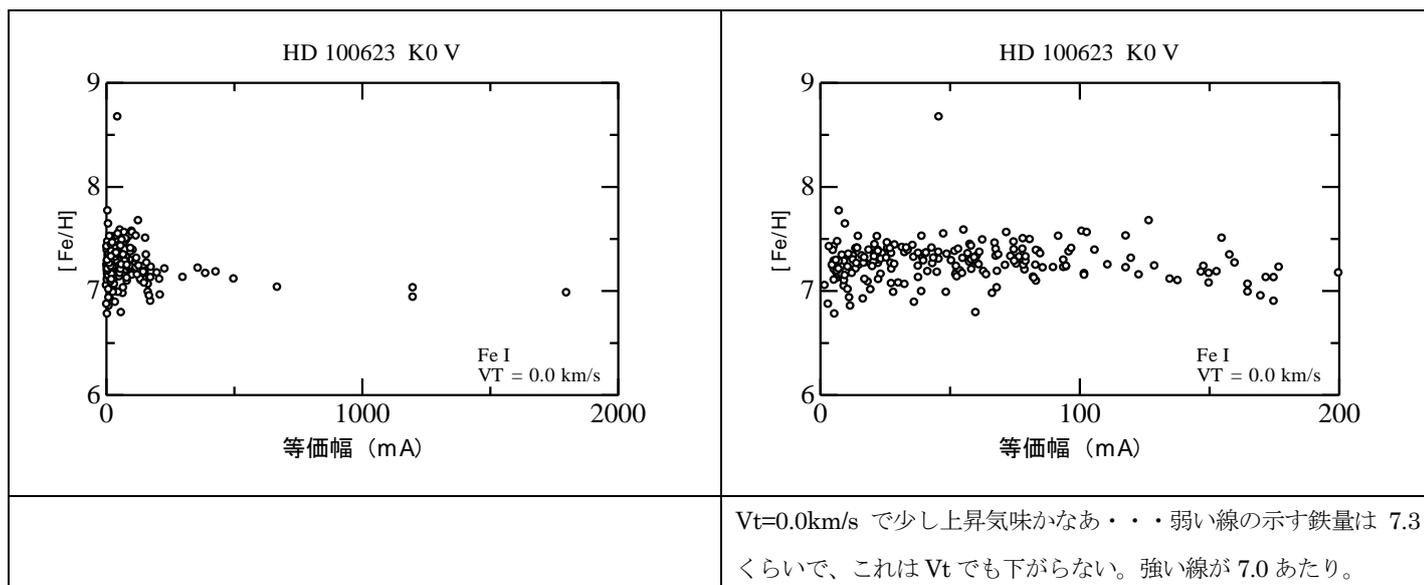
Eps Ind では大変なことが分かったので、もう一つの K 型を。Sun と Eps Ind の中間で、どのあたりからそうした傾向が見えるかを調べる。

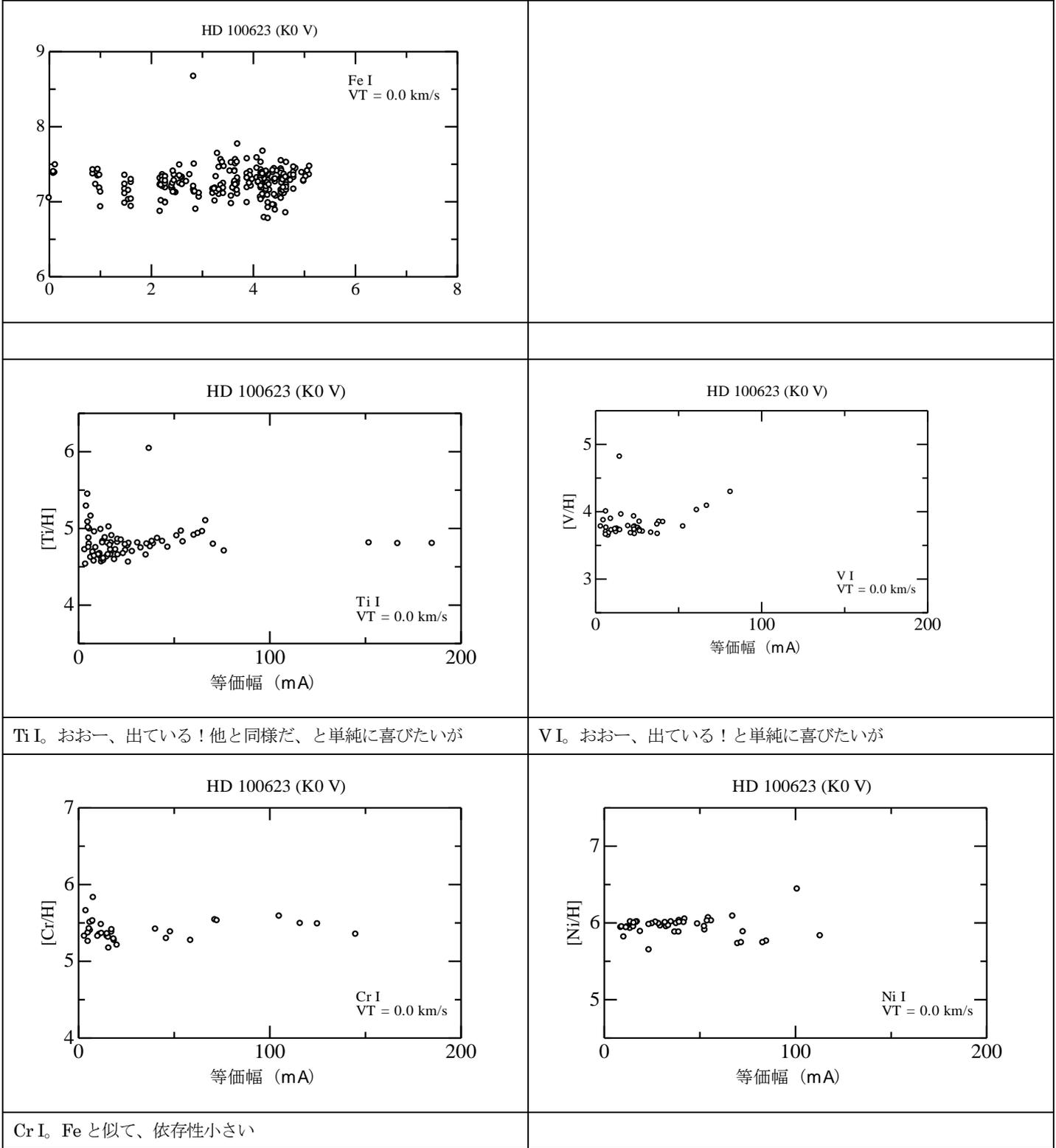
この星は UVES の Library にあったもの。

Pastel カタログは下のようになっているので、(5200, 4.62, +00)大気モデルに。金属を減らしても良かったが、たまたまこうなった。

Pastel catalog	Teff	log g	[Fe/H]
HD100623	5118	97	4.64
HD100623	5121		4.63
HD100623	5189	44	4.68
HD100623	5246	37	4.54
HD100623	5350	56	
average	5205	4.62	-0.43

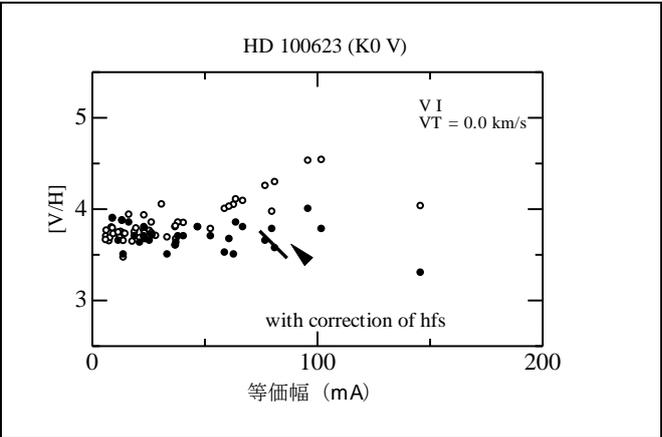
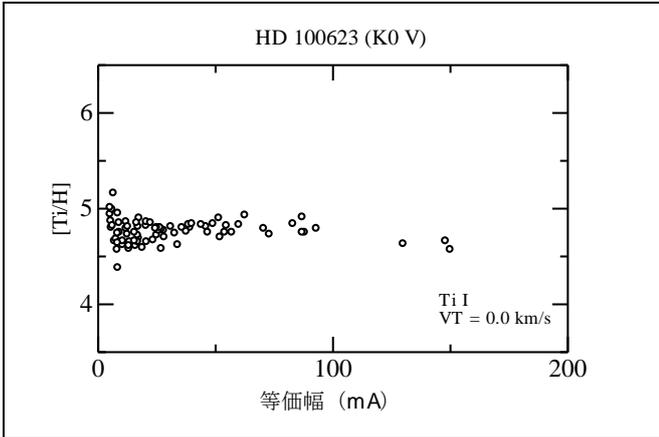
線リストは Eps Ind を用いた。Eps Ind より線が弱く、線の数は減った。





元素依存性は間違いない！

とはっきり言いたいところだが、吟味を！



Ti I. Ares を捨て、再測定。傾向、ほぼ消えた。他と同様、少し傾向が見られるような気もするが、・・・

Ti I は isotope が多く、hfs があるが、考慮できなかった。これをやると傾向が消える可能性あり。

Ares が 50mA 以上で大きな EW を示すとなると、他の元素でも疑いが生じるが・・・

V I は hfs で見事に消えた。